

鎗田病院医療従事者の負担軽減及び処遇改善に資する計画

(2023 年度)

当院では医療従事者の負担軽減及び処遇改善の為、下記項目について取り組みを行っています。

1. 医療従事者の負担軽減

- ・ 地域の医療機関との連携の推進
地域連携室が介入し地域の医療機関との連携の推進
- ・ チーム医療の推進
 - ・ICT :Infection Control Team (感染制御チーム)
 - ・NST:Nutrition Support Team (栄養サポートチーム)
 - ・AST:Antimicrobial stewardship Team(抗菌薬適正使用支援チーム)
 - ・褥瘡対策チーム
- ・ 外来効率化の取り組み
 - ⇒ 一部の外来における予約制の導入
- ・ 多職種との業務分担
 - ⇒ 臨床検査技師による外来採血業務
 - ⇒ 薬剤師による持参薬の確認、お薬相談の実施、
 - ⇒ リハビリテーションスタッフによるリハビリテーション中の吸引の実施
 - ⇒ 地域連携室の MSW・PSW が病棟スタッフに代わり、患者の入退院支援を実施

2. 医師の負担軽減(働き方改革の推進)

- ・ 育児介護休業法に基づく医師の勤務体系の構築
 - ⇒ 育児休業産前産後休業、育児休業制度
- ・ 医師事務作業補助者の配置
 - 7名の医師事務作業補助者を配置
 - 施設基準・医師事務作業補助体制加算 1(25:1)
 - 医師事務作業補助者による診断書等の文書作成補助
 - 往診に於ける診療内容の電子カルテへの代行入力
- ・ 勤務時間の適正化
 - 勤怠管理システムの導入により、医師の勤務時間の適正化に努める

3. 看護職員の負担軽減

- ・ 看護補助者の配置
 - ⇒ 急性期看護補助体制加算届出区分 25:1 による適正な人員配置
 - ⇒ 夜間 50:1 看護補助加算における夜勤時間帯の看護補助者の配置
- ・ 妊娠子育て中の職員への配慮
 - ⇒ 育児短時間勤務や子の看護休暇制度の導入
 - ⇒ 院内託児所の拡充
 - ⇒ 24 時間保育の実施等
- ・ 勤務体制の考慮
 - ⇒ 希望休への配慮、有給休暇取得への取り組み
 - ⇒ 勤務時間の適正化を図るため残業が多い部署においては所属長教育を実施していく
 - ⇒ 夜勤帯のニーズに対応した柔軟な勤務体制の工夫(早番、遅番導入)
 - ⇒ 夜間及び休日を含めた各部署の業務量の把握、調整する体制の構築
 - ⇒ 夜勤回数月 4 回(2 交代)以内を基本とした勤務表作成
 - ⇒ 勤務間隔 11 時間以上
- ・ 多職種との役割分担
 - ⇒ 医事課による入院時の説明および案内
 - ⇒ 薬剤師による病棟配置薬の管理